

高月中だより

平成29年3月1日

No. 11 文責 校長 谷口国夫

巢立ちゆくみなさんへ

今から20年ほど前の話ですが、私はアメリカ合衆国へ2週間ほど研修に行く機会をいただきました。一緒に行った人は20人ほどで、今でもその先生たちとは交流があります。アメリカのニューヨーク州やコロラド州の学校を訪問しました。その中で、五大湖の近くのバッファローという都市の中学校を訪ねました。ある教室に案内されて、「日本から来た先生たちです」と紹介され、学習の様子を参観したり質問を受けたりしました。アメリカの生徒たちは、積極的に質問をしてくれます。もちろん通訳の方がついてくださっていたので、コミュニケーションはなんとかできました。

「日本にもショッピングモールはあるのですか。」

「Of course! most famous shopping mall is 『HEIWA-DO』!!」

「日本の子どもたちは、今どんなことに興味を持っているですか？」

「TVアニメとかNINTENDOのゲームとかだよ。」

「私の両親は、最近、日本へ旅行した。素晴らしい国だと聞いたが、食事だけはまずいと言っていた。」

「それはそうかもしれない。わたしたちもアメリカの食事には驚いている。味付けが濃いし、ボリュームがありすぎる。前菜だけでお腹がふくれてしまう。」
実は、ニューヨークの空港で待ち時間が長かったため、売店でコカコーラをくれと頼んだら、「サイズは？」と聞かれたので、思わず「ラージだ」と言ってしまうと後悔したことがある。バケツのようなカップにどばっと氷を入れられ、ドボドボと1.5リットルくらいコーラを注がれた。さすがに飲みきれず洗面所で流しました。

こちらからも質問しました。

「日本と聞いて、どんなイメージを持っているのか？」

すかさず「テクノロジー!」と返された。他の生徒たちもうなずいている。なるほどと思い、ちょっとうれしかったことを覚えています。

さて、テクノロジーと応えてくれたアメリカの中学生の顔を思い出しながら、長浜の誇るヤンマーのディーゼルエンジンに話を移します。高月町の人ほとんど知っている話でしょうが、山岡孫吉氏は世界初の小型ディーゼルエンジンを開発したヤンマーの創業者です。明治21年、当時の伊香郡南富永村東阿閉に生まれ、農家の厳しい仕事を見て育った孫吉氏は、農業の機械化に取り組みます。しかし、エンジンが爆発したりトラブル続きでうまくいきません。その頃ドイツで見たディーゼルエンジンの優秀さに心引かれ、日本で小型ディーゼルエンジンの開発に没頭します。度重なる失敗を経て、昭和8年、小型ディーゼルエンジンの開発に成功しました。

やがて世界へも飛び出していく可能性を持った君たちは、次の山岡孫吉翁のことばを心に刻んでほしいものです。

「人生は運・不運に左右されることも大きいが、それでも誠実さと感謝の心を失わないで努力していけば、よき協力者も得て道も開け、人からも感謝されて、美しい世界が自ずから開けてくるのではないだろうか。」山岡孫吉翁の基本的な考えを表したことば『美しき世界は 感謝の心から』は高月中学校の校地内にも石碑として設置されています。(参考：長浜市教育センターHPの長浜市郷土学習資料)

日本が世界に誇るテクノロジーや信頼性の高い製品は、山岡孫吉氏や名もなき多くの技術者が、頭や体をフルに使って、大変なご苦労の積み重ねの上に創り出したものでしょう。山岡氏の感謝や誠実さ、勤勉なところは、郷土たる高月の風土が育んだのではないかと考えています。



You can take a horse to the water, but you can't make him drink.

《馬を水辺に連れて行くことはできても、(無理に)水を飲ませることはできない》: イギリスのことわざ

子どもに無理やり「勉強しなさい」とたくさんの教材を買い与えても、当の本人にやる気がなければ効果がないですね。成果を出すには無理強いするだけでなく、本人のモチベーションを上げてやる気を起こすことが必要です。

では人がやる気になるのはどういったときでしょうか？ 人はうれしいとか楽しいと思えることに夢中になって取り組みます。

☆人に頼りにされるとうれしい。

☆やったことを褒められるとうれしい。

☆自分が努力したことが認められてうれしい。

☆一人ではできなくても、みんなとならできる。

こういった考えを学習に反映させ子どもたちに力をつけるため、中学校では次年度、以下のことを重点的に取り組みたいと考えています。

「学び合い！」への挑戦

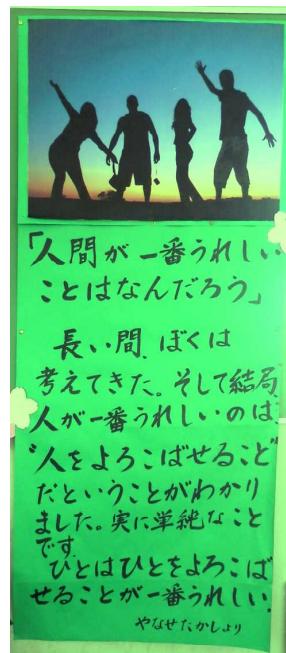
①相手を尊重し、互いに話を聴き合う関係づくり

②わからないことは、いつまでも一人で考え込まないで、隣の人に「ねえ、こどうするの？」聴いていい。

③そのために、教室の机配置をコの字型にします。

④すべての時間ではありませんが、授業中に4人グループを基本に、学び合い聴き合う場面を設定します。

いきなり成果を出すことは困難かもしれませんが、目標は一人ひとりが夢中になって学ぶ姿です。昔から行われてきた、先生が板書し、生徒はノートにせっせと写し、先生が全体に説明する一斉授業の形態は、もはや東アジアを除く先進国では博物館行きだとおっしゃる教授もいます。近いうちに学習指導要領も改訂され、「主体的・対話的で深い学び」が看板として掲げられるだろうと言われています。この主体的で深い学びに、本校では「学び合い」をテーマとして一歩近づきたいと思っています。



不審者対応避難訓練



3学期の避難訓練は、校舎内に入ってきた不審者対応の訓練でした。

木之本警察署にご協力をいただき、不審者に扮した警察官が、「子どもを迎えに来た、会わせろ！」と強引に校舎内に入ってきます。

これに対応した教師が、興奮する不審者に声かけし、続いて警察への通報、校舎内へ緊急放送、さすまたで押さえたりと緊迫した時間が流れます。生徒は教室



で気配を消し、自分の命を守るための訓練です。

その後、体育館で警察からの講評がありました。生徒たちは、うまく対応していたとお褒めのことばをいただきました。実際、不審な人物が進入してきたら、こんなものではすまないと思いますが、こういった訓練を積んでおく必要があることをひしひしと感じました。

3月の予定



- 2日(木)～3日(金) 1・2年生 期末テスト
- 8日(水) 県立高校一般入試
- 10日(金) 3年生 バイクینگ給食
- 14日(火) 卒業証書授与式
- 15日(水) 県立高校合格発表
- 24日(金) 修了式
- 25日(土) 春休み
- 31日(金) 離任式

※4月は10日が最初の登校日です。新2年生・新3年生はいつもどおり8:20に登校してください。入学式が午後にありますので、お弁当を用意してください。